

2025年7月20日
7月第三主日礼拝式



「わたしたちのこの口は」

わたしたちのこの口は 汚れているけど
どうか主がこれをきよめて
賛美を授(さず)けてください

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

あなたのその御名は いつまでもたたえられましよう
私も主を慕(した)いながら
心ささげて たたえます

偉大なあなたの御名が 天でも地でもあがめられ
主の栄光だけが 光り輝くように

(主の栄光だけが 光り輝くように)

182 あがめます全能の主

あがめます 全能(ぜんのう)の主

あなただけを

平和の主 あなたをしたいもとめる

心から ほめ歌ささげ

あがめます全能(ぜんのう)の主

あなただけを

新聖歌258番 「墨(すみ)よりも黒き心なれど」

1 墨(すみ)よりも黒き 心なれど

雪よりも白くあらわれたり

* 君(きみ)のもとに行きし時に おもにはすべて去れり

今はただイエスを信じ 喜びかぎりなし

2 うたがいおそれは 消えてあらず

やみ夜(よ)はかわりて 昼となりぬ * (くりかえし)

3 日々 おのれをすて 十字架をとり

ただ主にしたが い 道を歩まん * (くりかえし)

4 今 主を見ずとも 信ずるわれの

楽しみ さかえは かぎりあらじ * (くりかえし)

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌209番 「慈(いっく)しみ深き」

- 1 　いっくしみ深き　友なるイエスは　罪とが憂いを
取り去りたもう　心の嘆きを　包まず述べて
などかは降(お)ろさぬ　おえる重荷を
- 2 　いっくしみ深き　友なるイエスは　われらの弱きを
知りてあわれむ　悩み悲しみに　しずめる時も
祈りにこたえて　なぐさめたまわん
- 3 　いっくしみ深き　友なるイエスは　変わらぬ愛もて
みちびきたもう　世(よ)の友われらを
すて去る時も　祈りにこたえて　いたわりたまわん

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお 御神(みかみ)に

ときわに 絶(た)えせず

御栄(みさか)え あれ

御栄(みさか)え あれ

アーメン